

# 清 風

## 自分の住む地域に愛着をもとう！

札幌市立旭小学校 PTA

会長 有馬 尚経

八条中学校は今年、創立70年を迎えました。また、私がPTA会長を務める旭小学校は令和7年度に創立70年を迎えます。実は両校とも私の母校でもあります。私は生まれてからずっと豊平の旭水地区に住んでいる生粋の豊平民です。



旭小学校が創立30周年記念のときに私が1年生として入学し、来年息子が4年生になるときに70周年と、40年という月日が流れるのは、かくも早いものかとしみじみ感じています。八条中学校1年生のときの理科の講師の先生は、中学校創立時の教員だった方でした。この小・中の9年間は楽しいこともあり、また思い出したくもないイヤな出来事もありましたが、人生初期における人間形成の第1チェックポイントでもあります。

学校生活と同時に、人生初期に影響を与えるものとして、地域活動があります。今年の夏も暑い日が続き、その中でいろいろな地域イベントが行われています。夏の間だけでも、ラジオ体操、豊平神社例大祭、とよひらふれあいまつり、旭水地区納涼盆踊り大会などがあります。地域のイベントやお祭りは、子どもたちの記憶に残ることが多く、また地域振興に大いに貢献することになります。

さらに、子どもたちの参加は、今後のお祭りの存続にも関係してきます。しかし、最近では地域活動にあまり興味をもたない人も増え、地域イベントが行われていることを知らないという人もいます。

是非、ご家族で地域イベントにご参加ください。地域イベントに参加することは、それを楽しむだけでなく、地域安全にも役立ちます。顔見知りが増えることにより、災害時での避難誘導、犯罪の未然防止、交通安全など多くの面でプラスに働きます。昔は「向こう三軒両隣」と言って、町内会のほとんどが顔見知りという時代もありましたが、現在は「隣は何をする人ぞ」というような状況となっており、さらに防犯意識からオートロックマンションの増加、親の個人主義思想による子どもへの影響、未成年犯罪の増加など、以前とは社会状況が180度近く変わっています。

また、顔見知りが増えると「あいさつ」の重要性がでてきます。各小中学校ではめあてなどで「あいさつ運動」を推進していますが、学校内でのあいさつ指導が多く、校外でのあいさつにはあまりふれられていないように見えます。あいさつは人と人とのコミュニケーションをとる最初の行為です。学校内だけでなく、地域社会・家庭内でもあいさつができる子どもを育てていくことが青少年健全育成推進の第一歩と考えます。最近では、交差点や交通の要地に配置されている交通指導員に対してあいさつができている子どもが増えていると聞きます。よろこばしいことです。

子どもたちに地域とのつながりをもたせて、地域への愛着を育てる事、そして「おはよう」「ありがとう」などあいさつのできる子どもを増やしていくことが各学校PTA・青少年健全育成推進会・町内会連合会・各单位町内会、そして各ご家庭ができる社会貢献ではないでしょうか。

子どもたちが心から「楽しかった!」と言ってくれるイベントづくりも地域の大人に課された任務であると私は考えており、現在有志とともに実行計画に邁進中です!

私は普段、歴史家(郷土史家)として歴史評論文を執筆することが多く、このような原稿はあまり書くことが無く、非常に堅い文章になってしまいましたが、御了承いただければ幸いです。



# 子供と共に

札幌市立豊平小学校 PTA  
会長 羽部 良史

例年より一週間ほど長い夏休みのはずが、今年も子供達は宿題の追い込み。前半の意気込みは何処へ、、、。

苦手な漢字をやりながら、「携帯で変換できるのに」という息子の言葉にイライラしながら、最近はず書きだと漢字がなかなか出てこない自分がいるのもまた確か。

ふと自分の少年時代を振り返りながら「デジタルネイティブ」と呼ばれる子供たちを見ていると羨ましい限りです。勉強のみならず、スポーツや文化の観点からも、その分野のプロや世界の情報まで、簡単に手にすることができ、更に動画を倍速で見たり、止めたり繰り返し見たりも可能で、当時の私の何倍もの知識や情報を得ることができ。まさに学習、教育の転換期が訪れようとしているのではないのでしょうか。

しかし、デメリットも同時に伴う気がしてなりません。

これから子供が歩む道は一步一步しか進まず、そこでの経験や困難は、動画のように省略したり、倍速で過ぎる事はありません。また動画などで過程や結果だけを知り、その過程をあたかも自分が経験したかのような錯覚さえも覚えてしまうのではないのでしょうか。

そこでの矛盾に悩み苦しむ、時には立ち止まってしまうこともあるでしょう。そんな時は、親として支えてあげられたらと思っています。

ただ、よくよく周りを見渡せば、物干し竿と化した健康器具や大して読んでもいない本が家にある、、、。

時代にかこつけてしまったが、自分もやったつもり、買って満足になっていたことが多いことに気付かされます。子育てをしていると、親としてもまだまだ学ぶことが多いですね。

「しつけ」を丁寧にしたつもりが、「おしつけ」になる事もあるし、何より子供は親や大人をよく見ている、自然と仕草や口癖も似てくる。「躰」の字のごとく、親が率先して手本となる背中を見せなきゃいけないのかもしれないかもしれませんね。

これからの時代、ますますデジタル化が進み、時の流れも早くなっていくでしょう。

<多様性の時代>柔軟に、何より寛容であることが重要だと思っていますが、どうもそれとは逆に核家族や排他的な社会があるような気がします。

まずは身近な一つから、受け入れたり、許したりできる生活を、また子供が家族のように感じることでできる地域社会づくりの方法を模索していきたいと思えます。

## 令和6年度総会開催

去る7月16日(火)に八条中学校にて、八条中学校区青少年健全育成推進会の総会が開催されました。総会当日は、35名と多くの役員の方々に御参加いただきました。

総会では、昨年度の活動報告や決算報告、今年度の活動計画等について御審議いただくとともに、関係小中学校の様子や地域の方々からの貴重なお話をうかがうこともできました。

## 社会を明るくする運動

去る7月18日(木)に、昨年度に引き続き八条中学校生徒会の役員生徒と豊平区保護司会で「社会を明るくする運動」を行いました。朝、校舎前の歩道や校門付近で、登校中の児童・生徒や近隣の方々に、爽やかな挨拶とともにポケットティッシュを配布しました。



## ※八条中学校区青少年健全育成推進会※

札幌市中学校区青少年健全育成会の活動に基づき、八条中学校を中心に、豊平小学校、旭小学校、みどり小学校、東園小学校、美園小学校と地域の町内会等の方々が参加し、学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を発揮、連携することで、子どもたちの健全育成の推進に取り組んでいます。事務局は八条中学校(学校電話:011-831-6145 代表)にあります。

(広報「清風」は年2回発行、次回は1月発行予定です。)